

しかおい

私たちの町議会



大盛況のキャラクターショー／産業まつり

第104号

ふれあい農芸公園整備を実施

平成20年度決算認定

◇4議員が一般質問◇

■2009年10月26日発行 ■発行者 北海道鹿追町議会

[E-mail] gikai@town.shikaoi.hokkaido.jp
[URL] http://www.town.shikaoi.hokkaido.jp/

No.104

平成二十一年十月二十六日発行

千〇八一〇二九二 北海道河東郡鹿追町東町二丁目十五

発行/鹿追町議会

編集/広報特別委員会

議会活動

<7月>

- 27日 第8回臨時会、議会改革・活性化等調査特別委員会
- 31日 北十勝4町議会運営委員会正副委員長懇談会

<8月>

- 5日 総務常任委員会
- 10日 全員協議会、議会改革・活性化等調査特別委員会
議会運営委員会
- 12日 広報特別委員会
- 13日 総務常任委員会、全員協議会
- 17日 西部十勝議会運営委員研修会
- 18日 議会広報研修会(札幌市)
- 21日 第9回臨時会
- 24日 総務常任委員会
- 25日 産業常任委員会、議会改革・活性化等調査特別委員会

<9月>

- 2日 全員協議会、議会改革・活性化等調査特別委員会
議会運営委員会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 広報特別委員会、議会広報モニター会議
- 8日~24日 第3回町議会定例会(条例改正、補正予算等審議)
- 10日 第3回町議会定例会(一般質問)
- 16日 決算審査特別委員会
- 17日 全員協議会、産業常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 24日 第3回町議会定例会(最終日)、議会運営委員会
- 25日 議会改革・活性化等調査特別委員会
- 29日~10月1日 産業常任委員会所管事務調査

<10月>

- 5日 総務常任委員会、議会運営委員会
- 7日 広報特別委員会、議会改革・活性化等調査特別委員会、議会運営委員会
- 8日 十勝町村議会議員研修会(幕別町)
- 8日~9日 興部町議会行政視察来町
- 13日 議会運営委員会
- 14日 広報特別委員会、産業常任委員会
- 19日 広報特別委員会視察研修(沼田町)
- 20日 総務常任委員会
- 21日 全員協議会、議会運営委員会

議会広報特別委員会

- 委員長 川染 洋
- 副委員長 山岸 宏
- 委員 安藤 幹夫
- 狩野 正雄
- 飯沼 新吾

「地方交付税」とは、国から地方へ配分されるお金です。地方自治体は、地方税だけで行政サービスをまかなうものではなく、国は所得税や法人税など国税収入を所定のルールのもとで計算し、各自治体の財源として配分されているものであることを誰もが知っておく必要があるでしょう。

(広報特別委員 安藤幹夫)



交通安全・地域安全は皆の願い!

「秋の全国交通安全運動」にあわせ町内各団体による旗波作戦が9月24日行われました。当町ではひき逃げ事件が発生、又、児童への声かけ事件が続発し、地域安全も合わせて呼び掛けました。



スポーツで経済効果

「第15回」ALカップ全日本パークゴルフ大会」が9月12日と13日、新得町と鹿追町で開催されました。同大会に参加する600人を超える選手が練習も含めて繰り返し来場し、パークゴルフ場の使用料収入や飲食などで地域経済に貢献しました。

出産一時金

42月に増額



条例改正

出産一時金を増額

平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出生した時に支給する一時金について、38万円から42万円にする条例の改正を可決しました。

補正予算

1億9千万円を追加

町柏ヶ丘に「花」のまちづくりの拠点として安心、安全な多目的公園（レクリエーション・サークル活動・余暇・健康増進等）として計画されている農芸公園整備に5千5百50万円、子育て応援として小学校就学前3年間に該当する子供を対象に支給する子育て応援特別手当で6百78万円、西町会館の改修工事、瓜幕小学校と鹿追中学校の耐震化工事及び太陽光発電設置工事実施設計委託料など1億



尚、今回町の補正予算で可決された子育て応援特別手当については、10月14日、厚生労働相が国の補正予算の削減額上積み（恒久的な子育て支援策としてその財源に回す）のため、支給停止の方針を決めました。

9千万円を追加しました。これにより一般会計の予算総額は55億7千万円となります。

「美しい景観の街、鹿追町」 鹿追町ふれあい農芸公園



農芸公園整備工事に 5千5百50万円

9月の議会定例会は、9月8日から24日までの17日間を会期として開催されました。
「花」のまちづくりの拠点として期待される「鹿追町ふれあい農芸公園」の整備計画費を含んだ補正予算が9月定例会に提出され、原案のとおり可決しました。
（関連記事は3ページ掲載）
又平成20年度の各会計決算については特別委員会に付託し、審査を実施しました。

鹿追町ふれあい農芸公園整備地 / 町柏ヶ丘

決算審査

80億5千万円の決算を認定（歳入ベース）
平成20年度の決算審査は、9月16日、決算審査特別委員会（葛原昇委員長）において審査が実施されました。



審査の結果、平成20年度の一般、国保、老人保健、簡易水道、下水道、介護保険、後期高齢者医療、国保病院の8会計の総額、歳入ベースで80億5千万円、歳出ベースで77億2千万円の決算が議会最終日に認定されました。

財産の取得

家畜伝染病の予防のため、牛舎洗浄や消毒を行う家畜伝染病等防疫車の取得について議決されました。契約金額は1千4百82万円、道路清掃や害虫駆除・防除の機能も整備されます。



導入予定の防疫車と同型モデル

又、42人乗りの中型バスの取得についても議決されました。平成2年から19年間使用されたスクールバスの更新になります。契約金額は1千7百49万円です。

同意・諮問

公平委員に福井氏
教育委員に熊谷氏を再任

9月30日で任期満了となる公平委員会委員に福井博幸氏（笹川）、10月1日で任期満了となる教育委員会委員に熊谷堅一氏（中瓜幕）の再任が各々提案され、同意しました。

人権擁護委員に西科氏

12月31日で任期満了となる人権擁護委員に西科隆氏（新町）の推薦が提案され、適任と致しました。この後、

選挙

法務省において再任される予定です。

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

次の方々が当選しました。
選挙管理委員
鈴木善一氏（笹川）、高井光恵氏（美豊）、脇坂靖氏（笹川）、高橋征士氏（瓜幕）。
選挙管理委員補充員
北富士夫氏（笹川）、上本延子氏（西町）、安田美智子氏（緑町）、藤田農夫治氏（鹿追北5線）。

意見書

補正予算の適正執行を求める。

新政権下においては、平成21年度の補正予算の執行を停止し、不要と判断された事業は廃止するとされた方針が示されました。

しかしながら、同補正予算は、各地方自治体において地域活性化、経済対策の

ために既に議会の議決を経て執行段階に入っています。住民にその事業実施を約束し、理解を得ているだけに、地方自治体の経済対策が円滑に実施出来るよう、国の平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書を議員提案し、可決しました。

意見書を鳩山総理大臣ほか関係大臣、衆参両院議長に提出しました。

一般質問

決算分析

平成20年度の鹿追町各会計歳入歳出決算については、7月より監査委員による決算監査が実施され、次のように総括報告がされました。



決算審査委員会

町制施行50年、新たな50年に向け努力を 実質公債費比率は9.4%。一層の財政健全化へ

【総括】
平成20年度決算から見ると、本町の財政状況（一般会計）は、歳入で見ると昨年より3億6千2百12万9千円多い62億5千3百84万1千円で、歳出も3億2千7百49万5千円増の60億1千2百15万1千円と堅調な推移を保っており良好な財政状況であると判断される。

しかし、補助金等半年度の収入を勘案すると、今後一般財源の縮小も考えられることから、なお一層の経営努力が必要かと思われる。

本年度も、町税、各種利用料の収納率は昨年同様高率を保っており、単純平均であるが現年度分の収納率は99.62%であり、滞納分も含めた収納率は97.86%と高い水準にある。しかし滞納分の合計が2千52万1千円あり、10数年、20数年

と経過している分が散在していることから収納には難儀が予想されるが、税の公平を期するため担当部署の奮起を期待するものである。

また、財源構成においては、自主財源の割合が若干ではあるが上昇しており合計で2%の上昇、一般会計で11.8%の上昇となった。

本年は町制執行50年の節目の年であり、今後新たな50年に向けて、特色のある町作りにまい進することが、人口減、財政減に歯止めをかける一歩かと思える。



決算監査報告を行う野村英雄代表監査委員

財政健全化判断比率（%）

| | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|------------|--------|----------|---------|--------|
| 国の早期健全化基準値 | 15.0 | 20.0 | 25.0 | 350.0 |
| 国の財政再生基準値 | 20.0 | 40.0 | 35.0 | |
| 鹿追町の20年度比率 | — | — | 9.4 | 67.0 |
| 鹿追町の19年度比率 | — | — | 10.0 | 55.0 |

鹿追町では実質赤字額、連結実質赤字額がないため、「-」表示をしています。

実質公債費比率
鹿追町が将来負担すべき実質的な負債で、町税や普通交付税等標準的な財政規模に対する比率を表し、将来の財政の圧迫度を示します。

将来負担比率
第3セクター・一部事務組合・公営企業会計の負債の損失補償なども含めた鹿追町が将来に亘って負担しなければならない残高の程度を指標化したもので、将来の財政の圧迫度を示します。



山岸宏議員

Q 鳥獣の捕獲対策及びその処分等の対応は

A 農業者、猟友会の双方の負担が少ない方法を検討

（質問）

町は、鳥獣被害防止計画に基づき様々な対策を講じていますが、実際の取組みに際しては、様々な課題があります。そこで私は、鳥獣の捕獲対策及びその処分等の対応についてお尋ねします。

シカの駆除に関しては、被害地域と関係機関の共通理解のもと、猟友会が効果的な駆除ができる体制づくりが必要と考えるが、各種鳥獣捕獲用の箱わなの設置状況と駆除実績は。

箱わなで捕獲した鳥獣について、その処分が適切に行われるよう焼却設備等の整備を検討すべき。

（答弁） 田町長

今年6月に町、農協、猟友会で会議を持ち、効果的な駆除を行うための協議をしており、農業者、猟友会の双方の負担が少ない方法を検討しています。

平成20年度の実績は、シカ11頭、カラス4百96羽、キツネ1百16匹（うち捕獲器52匹）、ドバト2百91羽で、平成19年度と比較して飛躍的に伸びており、箱わな設置の効果が現れています。



Q 公共駐車場の駐車幅の拡大を

A 出来る場所から駐車幅の拡大をしてまいりたい。

（質問）

町で管理している駐車場は、駐車幅が狭くて停めづらく、又乗り降りがしにくい状況であります。



飯沼新吾議員

他町村においては、焼却施設を設置或いはレンダリングを利用している場合もあります。町で焼却施設を設置するとした場合の事業費、設置場所、維持費等について、調査する必要があると考えており、農協、猟友会等とも相談をしているところです。

レンダリングと畜場の食用に用いられない屑肉などから粉末肥料、飼料、などの原料となる動物油脂及びミールを作る事。

本町の公共の駐車場につきましては、今後の駐車場の新設やラインの引き換え整備の折りに駐車幅の拡大など順次改善すべきであり、町長の所見を伺います。

（答弁） 田町長

本町が管理している公共自動車駐車場は数十か所に及んでいるところであります。この区画線の基準につきましては、「道路構造令」に基づいて実施をしております。小型車を例にとりまして、長さ5m、幅が2m30cm、一台当たりの「駐車スペース」が標準値であります。安全で無理のない「駐車スペース」の確保は大事なことであり2本線を施して駐車スペースの幅を広げるとい

ことが必要であるというふうに判断をしているところであり、因みに2本線を施した場合、白線の幅も入れますと「1駐車スペース」当たり約30cmほど増え、今現在の駐車場の駐車台数の減は当然起きてくるわけであり、今後予算等々も勘案をしながら出来ることから「駐車スペース」拡大を実施していきたい。

また、併せて身体に障害をお持ちの方の駐車帯等々についても配慮をしていきます。



整備された役場前駐車場

一般質問



上嶋和志議員

Q 鹿追町土地開発公社の今後の在り方は

A 早晚結論を出したい。

(質問)

現在、鹿追町土地開発公社においては、いずみ野団地の第三次分譲を行っており、26区画中すでに16区画が販売され、残り10区画になっており、町の定住化促進住宅奨励制度と土地開発公社が行っている安価な分譲は町民のマイホームに対するニーズに充分応えているものと評価するものです。
土地開発公社は、地域内の秩序ある整備を図るために必要な公有地を取得、造成、管理を行うことを目的に自治体が100%出資で設立した特別法人です。
現在、その運営は事業の見通しが立たなくなったり

等のいわゆる「塩漬け」になっている土地などは無く良好になされていると思いますが、十勝管内には半数以上の町村の土地開発公社が解散するなどしており、この現状を踏まえて本町の土地開発公社の今後の在り方を伺います。



いずみ野団地

(答弁) 田町長

土地公社の設立は法律に基づき議会の議決を経て定款を定め、議会の議決を経て組織された町土地公社理

事会で十分審議した上での適正な業務執行であると考へております。
債務負担行為など議決を要するものについてはその都度協議会で説明し議決を願っております。
公社の今後については、まだその使命が終わったとは言えないが、ご指摘の通り管内では数が少なくなっておりまして本町も早晚結論を出したいと考えております。



埴淵賢治議員

Q ライディングパークゴルフ場の公認で瓜幕地区に活性化を

A 可能性を調査中です。

(質問)

現在、パークゴルフの普及率は、管内はもとより道内、全国的にと拡大されて

おり、日常は公認コースを巡り、特に中高年が健康のため、また余暇を趣味として楽しまれている状況にもあります。現状を認識し「公認コース」が更にもう一か所あることで、プレーヤーにも今日以上の利用に期待できると考えます。その実現のためにも、瓜幕のライディングパークゴルフ場の公認コースを前提とした、36ホールに造成できれば道の駅つりまくを核とした経済的波及効果にも繋がると期待、判断されますが、町長のご所見を伺います。

(答弁) 田町長

36ホールの公認コースに造成することができないかとの意見の半面、18ホールコースを守る意見もあり、従って、今後どこに視点を置いて造成をするべきかを十分見極めた上で結論を出していきたいと考えています。
36ホールにした場合、どういふ形の造成ができるか現在調査中でございますので、図面を持って皆さん



瓜幕ライディングパークゴルフ場

方にもご検討いただければと考えています。

(質問)

安全にプレーができ、36ホールの公認造成が可能であるか調査中ということですが、現場の感触として坂本支所長にお伺いします。

(答弁) 坂本瓜幕支所長

安全を十分考慮した中で、造成可能な面積はあると感じております。

委員会レポート

議会改革・活性化等調査特別委員会

議会運営のルール見直しや議員の資質向上について討論中です。

議会改革・活性化等調査特別委員会は9月25日(金)8回目の特別委員会が行われました。これまでの経過をまとめますと、議会運営のルールや議員の資質向上、町民に分かりやすい議会活動の様子、開かれた会議の持ち方など色々な角度から話し合われています。

第8回特別委員会は議会広報、広聴活動の進め方、政務調査費、反問権、自由討議、一般会議などについてテーマになりました。

さらに議会の基本ルールを定める上での研修や、議員自ら議会改革に取り組むために、色々な場で勉強をしています。

8月17日(月)西十勝議会運営委員会研修会(新得町議会会議室)講演「議会の活性化と議会運営について」

講師 北海道町村議会議長 会 勢旗事務局長

参加者 7名
9月9日(水)帯広市議会研修会(帯広市議会議場)講演「議会基本条例と議会改革」

講師 神原 勝氏(北海道大学教授) 参加者 5名
今後7月2回の特別委員会を持ち、議会改革活性化への討論を深め成案にまとめる努力を進めて参ります。

総務常任委員会

「指定管理者制度」について調査

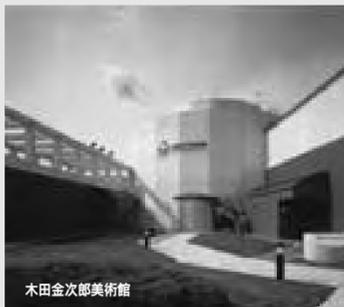
この制度は、「公の施設」の管理運営を民間事業者に委任できる制度であります。

主な目的は、住民の福祉増進に寄与する施設の他に「道路・上下水道・公園」なども含まれます。

制度によるメリットは
1. 利用時間の延長によるサービスの向上。

2. 行政経費の削減ができる。

調査先の真狩村では、9施設に適用し、その施設の1つ「野の花診療所」では、制度導入前後の比較で患者数が2.7倍に増加をし、行政負担は従前5千万円以上の繰出し金が、現在は支出なしで「住民・行政・管理者」が満足のできる理想的な事例でもあります。



木田金次郎美術館

岩内町では美術館を指定管理とし、現在も継続的に鋭意経営努力をしています。しかし、運営の最大の財源である観覧収益が、ピーク時の6分の1に減少しており、これは独立美術館の宿命とも受け止められます。行政の支援なくして、美術

産業常任委員会

9月7日(月)農業振興対策推進委員会(町議会、JA、普及センター等)と農業委員会の合同状況調査が行われました。

今年の作柄は6月7月の日照不足と低温、多雨などの気候条件の影響で全体的に生育は不良、特に豆類は6日9日の遅れ、馬鈴薯、ビートは作況が盛り返っており今後の天候に期待したいと関係機関より説明がありました。

関係者はバスで中鹿追、幌内、瓜幕、笹川など各地区を見て回りました。中でも湿害の発生で畑に水がたまった所は馬鈴薯の掘取り作業への影響や品質低下が

心配されます。収穫の終えた小麦は水クシんで約7俵の収量に留まるなか、新品種の「きたほなみ」が10俵の収量と報告されました。小豆では「キタノオトメ」が今後の天候にもよるが、平年並みの収量が予想されることでした。飼料作物の牧草、デントコーンは圃場による差はあるが平年並みの生育状況です。

各地区の作況状況と専門機関の報告を踏まえ、とりまとめ会議では来年度以降も明きよ、暗きよなど圃場の排水対策などの基盤整備、土づくり、輪作体系確立を推進する事を確認いたしました。



合同状況調査